くらしき女子ファッション新聞

発行者
倉敷市立茶屋町小学校
6年1組
（藤村夏帆）
発行日
令和（6）年
（7）月（28）日

アクセサリー果物いっぱいのパフェ マスキングテープ 私はかわいいものが大好き！倉敷にはいろいろ女子の心をくすぐるかわいいものがたくさんあります。私といっしょに「くらしき女子」になりませんか？

可能性は無限大デニム

ビッグジョンが1965年にアメリカから輸入したデニム生地を使って縫製し国内初のジーンズを生みだしたことをきっかけに倉敷市児島が国産ジーンズ発祥の地と言われるようになったそうです。今では国産ジーンズの約4割は児島でつくられています。みんなから長い間愛されてきたジーンズですがもっと多くの人から愛されるように デニム生地を使ってジーンズ以外のものでも かけ算でかわいい製品が作られています。私のみつけたかわいいは

- デニム×スカッシュ
- デニム×シュシュ
- デニム×花束
- デニム×リース

〈参考〉まっぷるトラベルガイド

デニムリース

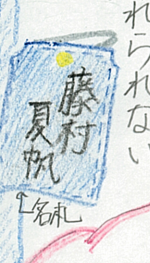
デニムスカッシュ

〜わたしのアイデア〜

私もデニムのかけ算でかわいい製品を考えてみました。

「デニムの名札」

はどうでしょう。小学校で毎日つける名札。小さい頃から毎日つけることで多くの人にもっと愛されるのではないでしょうか。また丈夫なのもデニムのよさ。6年間付け続けても平気です。卒業のときには人それぞれの味わいが生まれています。忘れられない生の宝物になるのではないでしょうか。


藤村夏帆
名札

「かわいい」はかけ算

歴史的な趣（おもむき）がある美観地区に象徴される倉敷。倉敷の歴史や伝統を大切にしながら、「かわいい」を生み出しています。美観地区のお店を見ていると伝統×流行、和風×洋風など、正反対なものをかけ合わすことで魅力が何倍にもふくらんでいるものが多くありました。わたしのみつけた「かわいい」は「なまこ壁の建物×カフェ」「デニム×マグネット」「畳縁×コースター」などです。倉敷に昔からあるものと何かをかけ算することでたくさんの「かわいい」が生み出されてきました。その中でも気になった「デニム」と「畳縁」について紹介します。

畳縁

全国の畳縁生産の約8割を占めているのは倉敷市児島。なんとジーンズの生産よりも割合が高いのです。畳縁とは畳の長手方向に付けられた布のことです。畳表の角のまさつを防ぐためや畳をしき合わせる際にできるすき間をしめる役わりがあります。その畳縁が他のものとかけ算することでかわいい製品へと生まれ変わっています。私のみつけたかわいいは

- 畳縁×鏡
- 畳縁×ペンケース
- 畳縁×ヘアゴム
- 畳縁×サメ

畳縁のサメ

〈参考〉高田織物HP

「変わらないために変わっていく」と高田織物の高田さんはおっしゃっています。かわいいを作っているのは今あるものを他へと変えることができる技術と多くの人に親しまれたいと商品を愛する生産者の心だと思いました。「技術×心」がかわいいを生み出しています。

形をかえる畳縁

アップデートでかわいい UPDATE

かけ算でつくるかわいいはデニムや畳縁のよさを生かし色々なものへと形を変える横に広げるようなイメージ。倉敷の伝統をよりよいものへと高める縦に伸びるイメージの「アップデートで作るかわいい」もあることに気が付きました。私の見つけたアップデートで作るかわいいは「足袋（たびぎり）」と「希莉光あかり」です。この2つを紹介します。

こだわり続ける足袋

足袋（たび）の三大産地の一つの倉敷市。倉敷の名産の一つと言える足袋ですが最近では出荷額が1980年の約半分になっています。私もピークのときにはいたことがあるぐらいです。なかなか目にすることがありませんでした。美観地区を歩いていると足袋をアップデートしたかわいい靴やくつ下に出合いました。倉敷市茶屋町に本社があるMARUGOさんの商品でした。海外の工場で生産されていたそうですが、メイドイン倉敷を復活させたいという思いで生産きょ点を倉敷に移されたそうです。熟練の技とすばらしい手仕事で心をこめて一つ一つ作っているそうです。綿産業が盛んな倉敷のみりょくを伝え地元を盛り上げていきたいとの思いが足袋に表れていると感じました。倉敷を大切にしたかわいい足袋は間違いなくかわいい！くつ下を買ってはいてみるとそのはきごこちが最高でした。くらしき女子にはおすすめの一品です。

〈参考〉MARUGO パンフレット

足袋ソックス

おもいが光る希莉光あかり

「希莉光あかり」のかわいさにみりょうされ、倉敷光作所さんで切子ちょうちん作りを体験した。作者の須山寛子さんが美観地区でお盆の時期つるされる倉敷切子灯ろうに出会ったこの灯ろうをアップデートし、希莉光あかり」として新たな命を吹きこみました。

〜切子ちょうちんの作り方〜

① 接着済を使い、枠をくっつける
② 枠に和紙をはる
③ マスイで枠をデコる
④ 和紙に切り絵やシールをはって完成！

マスイ×希莉光あかりはいつまでもなくかわいい！

自分の作品

〈作家さんにインタビュー〉

希莉光あかりの作家さんに、「なぜ切子ちょうちんを作る体験を行っているのですか？」とインタビューをしてみると「お客さんと倉敷のみりょくについて話しながら楽しく活動できるからだよ」とおっしゃっていました。

作家さんの思いや願い作品を大切にしている心があるからかわいいものが生まれるのだと思いました。

作家さんの作品

〈参考〉倉敷光作所HP

編集後記

「かわいい」ものの秘密は

① かけ算で「かわいい」を倍増
② 伝統を大切にし、今の時代に会うようにアップデートし追求
③ 作家さんの思いがかわいいを生み出す

「かわいい」とは、人の心をとらえ、ときわくさせてくれるもののことをいうと思います。さらにそこに倉敷の人の温かさが加わりよりすばらしいものへと進化しているのです。**3つのポイントをうまくゆう合させているところが倉敷の最大の強みではないかと思います。**これからも私は「くらしき女子」として倉敷でつくられたものを買い、地元倉敷を愛してきたいと思います。

希莉光を教えてくれた須山さんとの記念写真

全て畳縁のマグネット